

## 病院長からのメッセージ 「大規模交通災害への対策」

病院長 泉 良平



2月3日に北陸自動車道にて発生しました大規模交通災害での救急対応につきまして、富山市民病院の対応が不十分であったために、救急患者様を受け入れることが出来ませんでした。市民の安全・安心を守るべき病院の対応として不適切であり、市民の皆さまにお詫び申し上げます。対応の不備についての検討と、新たな対応策を、2月23日に開催されました富山市議会厚生委員会に病院として報告いたしました。その内容についてご説明致します。

2月3日、午後9時40分ごろ、射水市内の北陸自動車道入り線にて、多重交通事故が発生しました。富山市を含む富山医療圏では救急当番制が行われていますが、当日は当院の救急当番日ではなく、精神科医1名、当直看護師2名、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師のおのおの1名が通常の当直業務を行っていました。

事故発生後、約2時間後の午後11時25分ごろ、病院に富山市消防局通信司令部から多重事故による患者の受け入れについて照会がありました。照会の電話は当直看護師がとり当直医に連絡を試みましたが、医師の院内携帯電話（PHS）が15分以上話中であったために連絡できず、やむなく当院の当直体制を伝えたところ通話は終了いたしました。その後、富山市消防局からの連絡はありませんでした。2月4日、午前0時ごろ、今度は射水市消防救急隊から、けが人の搬送依頼がありましたが、当直医師が救急隊員に直接、精神科医である旨を伝えたと他院へ搬送するとされ、通話は終了いたしました。そのため、当院では救急時にはすべての診療科医師が診療できるように、拘束医師を決め連絡体制も設けているにもかかわらず、これら医師へ連絡されることなく、事故による傷病者は搬送されませんでした。

市民病院として多くの傷病者を受け入れるべきでありましたのに、まったく対応できませんでしたことは大きな問題であ

り、病院内で早速、事情聴取と対応策の検討を行いました。消防局からも関係者の出席を得て、災害委員会と救急診療委員会との合同にて検討しました。まず、通話中という事情で当直医師と看護師との連絡ができなかったことが大きな問題でした。診療は医師が責任を持って行うことであり、看護師が連絡を試みたことは正しい行為でした。看護師のみの判断では、患者様を受け入れることは出来ません。連絡に時間を要したことで、消防局の照会に十分な対応ができませんでした。しかし、このような事情は常時起こりうることであり、緊急時の対応としては不十分です。迅速な対応がなされなければ、一刻を争う救急患者様を救命する事は出来ません。そのため、消防局との協議の上で、消防局通信司令部からの多重交通事故や、航空機事故、列車事故などの通報では、連絡を受けた看護師・医療スタッフは、医師に連絡するまでも無く、その場で対応を決定し、救急医を含む関係者に即刻連絡し救急体制を整備することと致しました。

これまで、平成12年より4件の北陸自動車道での多重交通事故がありました。当院はこれまではすべての事故に適切に対応できていましたが、病院としての対応策を決定していなかったことが今回の不備につながったと考えます。今回の対応策につきましては、さらに検討を加え、より良い救急診療を行いたいと考えます。

大地震などの大規模災害についての対応策は、すでに災害委員会がマニュアルを作成し検討しています。患者さまの怪我の状況に応じて治療内容などを決めるトリアージの方法も決め、院内の体制も整備しています。しかし、今回のような事故への対応が不十分であったことについては、大きな反省をしなければなりません。これから、救急医療についてさらに向上させてゆくことをお約束して、皆様のご理解を頂きたいと存じます。

## 目次

■病院長からのメッセージ 「大規模交通災害への対策」 病院長 泉 良平	1
■連載企画 エキスパート・ナース® 「感染対策看護」 河西新悟、家城美和子、安田 恵	2
■特別寄稿 「エキスパートナース紹介の連載を終えて」 看護師	2
■特別寄稿 卒業にあたって 富山市立看護専門学校 第37回生代表 畑 瞳	3
■連載企画 外来看護だより® 「外科外来」	3
■科紹介 病理科	4
■連載企画 旬をたのしむ21 「キャベツ」(栄養科)	5
■連載企画 ボランティア・エッセイ22 『あせらない・あわてない・あきらめない』 病院ボランティア 石森貞夫	6
■院長への手紙 ご紹介とお返事	6
■お知らせ 「医療費の内容が分かる領収証」と「医療費明細書」をお渡ししています。	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8



ふれあいギャラリーから  
「薔薇に心よせて」  
(村沢京子さん)

## ■連載企画 エキスパート・ナース⑫「感染対策看護エキスパートナース」 河西新悟, 家城美和子, 安田 恵

はじめまして。

当院では、院内感染対策委員会（ICT）を中心に、患者様と職員を院内感染から守るために病院全体で日々取り組んでいます。その中で私たちエキスパートナース3名は、皆様がよく耳にされる「院内感染」を防ぐために、常に治療の現場にいる看護師として、それぞれ異なる病棟で勤務しながらも組織横断的に全職員を対象とした啓発活動を行っています。

おもな活動内容としては、新採用者や職員を対象に感染対策の基本である衛生的手洗いの方法や手袋・エプロン・マスクなどの正しい着脱方法のデモンストレーションを行っています。また、感染対策マニュアルの作成、対策の立案と実施、感染対策ドクターや微生物検査技師などとチームを組んでラウンドを行い、院内職員からの感染対策に関する相談を受けたり、指導にあたっています。その他に職員を対象とした院内感染対策学習会を定期的で開催し、職員の感染対策に対する意識の高揚につなげるように働きかけています。

最近では、地域支援病院として他施設との連携にも目が向けられています。社会全体で療養生活を支えるには、感染対策が重要であることから、院内感染対策学習会に地域連携室を通して、院外の医療関係者の方々にも参加を呼びかけ、院内の職員と一緒に聴講していただいています。お互いが感染対策に対して同じ情報を得て、知識を深めていくことで、よりよい地域連携に

つなげていくことができるのではないかと思います。

「院内感染」とは、患者様や職員がいろいろな経路を通じて感染し、病気になってしまうことを指します。病院にはいろんな感染症の患者様や感染症に弱い患者様がいらっしゃいます。院内感染対策は単に感染症対策だけではなく、病院内における患者様と職員を守る医療安全とも深く関連しています。私たちの活動は、直接患者様とお話する機会はほとんどありませんが、今後も患者様が安心して治療に専念していただくための環境づくり、「安全と質の向上」に向けての活動を地道に行い、感染対策が着実に当院や地域に根付いていくように努めていきたいと思っています。



## ■特別寄稿 「エキスパートナース紹介の連載を終えて」 看護部

これまで、いろいろな分野のエキスパートナースの活動をご紹介して参りましたが、今回で、12分野の紹介が終わり、エキスパートナース紹介の連載が終了になります。皆様如何でしたでしょうか？

各分野のエキスパートナースは、それぞれ試行錯誤しながら、患者さまへのケア充実に向け努力をしております。困ったことや相談したいこと、また、お気づきのことがありましたら是非お声をかけてください。お待ちしております。

5月号より、指導相談窓口と各教室の詳しい案内や活動状況をシリーズで掲載していく予定になりました。その中でまた、各分野のエキスパートナースの関わりも紹介させて頂くことになるかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

### エキスパートナース(掲載号)

①糖尿病看護 (第13号)	岡村多枝子, 立野恵子, 塚原美智子, 高林裕子
②ターミナルケア (第14号)	市橋啓子, 岡田恵子, 清水好志美, 早瀬秀子
③腎不全 (第15号)	中田美智代, 斉藤梨恵子, 浦田千賀子
④呼吸器看護 (第16号)	古川美和子, 赤田文代, 鍛冶裕子, 宮川由香
⑤ストーマ (第17号)	青木かずみ, 石黒真澄, 関口聡子
⑥創傷・スキンケア (第18号)	井田しのぶ
⑦救急看護 (第19号)	田村雅子, 重松理恵
⑧プレストケア (第20号)	谷川二美子, 織田智詩子, 小倉弘子
⑨地域看護 (第21号)	大田優子
⑩リハビリテーション看護(第22号)	臼田喜美子, 土肥テルミ
⑪リエゾン看護 (第23号)	村上泰敬, 杉谷鶴美, 村栄正輝
⑫感染対策看護 (第24号)	河西新悟, 家城美和子, 安田 恵

## ■特別寄稿 卒業にあたって

富山市立看護専門学校 第37回生代表 畑 瞳



この2年間、一番辛かったことや多くのことを学んだこと、自分を大きく成長させてくれたことは、何よりも病院での実習であった。

受け持ち患者さんに何をしてあげればよいのだろうと悩み、何もしてあげられないと悔やみ、涙を流した日もあった。そんな時、先生からかけられた言葉は、「人を育てるには愛情を持って接すること」という言葉であった。私は笑顔を絶やさず、精一杯患者さんに愛情を注ぎながら接した。その結果得られたことは、患者さんの笑顔、喜びの涙、そして「ありがとう」の言葉であった。それは、私の中でかけがえのないものであり、他の何物にもかえられない宝物となった。

また、2月26日に終えた看護師国家試験。同時期に冬季オリンピックが開催され、「オリンピック」という長年の夢に向かって努力し続ける選手の皆さんに勇気づけられた。1分1秒にかける選手たちのように、「看護師」になるという長年の夢に向かって、すべてをかけたゴールの国家試験に向けて努力することができた。ここまで達成することができたのは、多くのことを教えてくださった患者さん、病棟スタッフの皆さん、先生、そして何より近くにいて支えあってきた同じ志を持つ多くの仲間がいたからと思う。

「ありがとう」という思いを胸にひめ、これからも努力し続けたい。



## ■連載企画 外来看護だより⑨ 「外科外来」

外科は主に消化器疾患、乳腺疾患の手術治療が必要な方や、手術後の経過観察追加治療の必要な方が受診されます。医師8名と看護師4名、医療助手1名が診療に携わっています。

手術治療が必要な疾患は、癌など悪性疾患が多くそれに伴う患者様の身体的・精神的苦痛は計り知れないものがあると思います。また良性疾患であっても、手術を受けることに対する不安と社会的負担も多々あることが予想されます。スタッフ一同、患者様の身になりそれらの苦痛が軽減出来ますよう、お手伝いすることに努力していますので、お気軽にお声をかけて下さい。

入院期間の短縮化に伴い、外来で可能な検査や他科受診などの計画を、患者様と御家族の意向を伺いながらご相談に応じておりますが、場所的・時間的余裕が無く、十分な環境を提供出来ないことに、心を痛めております。手術後緊張の解けた笑顔で、「思ったほどではなかった」「いろいろなことを聞いて申し訳なかった」などと元気な様子を拝見すると、仕事に対する自信と至福の喜びを感じる瞬間となります。

患者様の中には手術後人工肛門装着となり、様々な身体的・精神的トラブルを抱えて来院される方もおいでになりますが、毎週火曜日の午後にエキスパートナースの認定を受けた、ストーマ看護師が専門的知識と最新情報の提供により人工肛門のトラブルやそれに伴う様々なご相談に応じていますので、ご予約をお待ちしています。徐々に受け入れ態勢の出来た患者さま

の自信あふれる言葉に、励ましを与您いただいております。

それに加えて、乳癌患者様の心身両面の様々なご相談に対し、ブレストケアナースを中心にその専門的知識を受けたスタッフが応じておりますので、御相談をお待ちしています。

平成18年度より導入された、電子カルテに戸惑いながら、診療が円滑に進むよう、患者様に満足していただける医療の提供や接遇の面でも努力していきたいと思っています。気軽に窓口を訪ねてくださる日をお待ちしています。



「外科外来スタッフ」

## ■病理科紹介



齋藤 勝彦  
(さいとう かつひこ)  
病理科部長  
昭和58年金沢大学医学部卒

- 専門領域 病理診断、細胞診、臨床検査
- 資格 死体解剖資格  
日本病理学会認定病理専門医  
日本臨床検査医学会認定臨床検査専門医  
日本臨床細胞学会認定細胞診専門医・指導医  
医学博士
- モットー 病理は医療の質の番人です。



↑ **世界初！バーチャルスライドによる電子カルテ病理画像システム**  
顕微鏡が無くても、電子カルテが顕微鏡に早変わり！

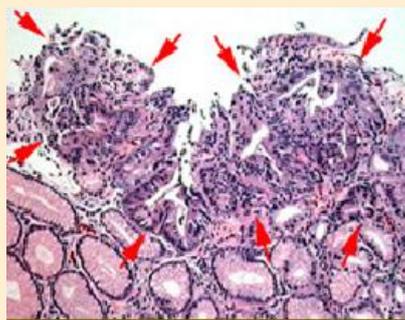
### ◆◆科の特色◆◆

体の組織や細胞を顕微鏡で検査することにより病気の診断をする部門です。患者さんとは直接かかわりませんが高度医療を陰で支えるなくてはならない重要な部門です。そのため専任の病理医がいます。

### ◆◆1. 病理診断◆◆

#### 1. 生検材料

患部の一部を切り取って顕微鏡で調べます。病変の質的な確定診断を下します。例えば内視鏡検査で発見された病変にがん細胞が無いかなかを判定し、以後の治療方針の決め手になります。Evidence Based Medicine (証拠に基づく医療)の基礎です。



#### 胃癌の組織像(顕微鏡写真)

胃カメラで発見された病変を鉗子で少し切り取って顕微鏡で調べたものです。胃生検検査といいます。矢印で囲んだところが胃癌の細胞です。

#### 2. 手術材料

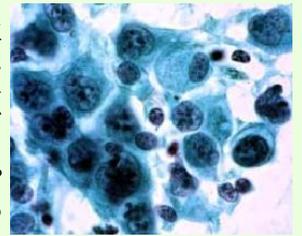
手術で摘出された病変の質的診断を行います。病名の確定やその病変の広がり、残存の有無などをこまめに調べることで術後の治療方針の助けになります。

### ◆◆2. 術中迅速病理診断◆◆

手術中に行う病理検査で、病変の確定診断や取り残しの有無の判定などを迅速に診断することで、より適正な手術を行うことができます。負担の少ない縮小手術などでは必須の検査です。

### ◆◆3. 細胞診断◆◆

患部から採取された細胞にがん細胞がないかを顕微鏡で検索します。子宮癌検診や肺癌検診でも行われています。



痰の中から発見された肺癌の細胞の顕微鏡写真

### ◆◆4. 病理解剖◆◆

なにが原因で亡くなられたのか、病気はどの程度に広がり進行していたか、はたして治療はどのくらい有効であったか、また適正であったか、などの問題点を解明します。毎回主治医と検討会を行い、その結果を今後の医療に役立てます。ご遺体は私たち医師にとって真実を伝えるかけがえのない教科書であり、ご遺体は崇高な意志の表れです。当院では5年ごとに合同法要を行っております。

### ◆◆5. 特殊検査◆◆

最先端の医療技術を駆使して質の高い診断に役立っています。

- (1)電顕検査：顕微鏡でも見えないミクロの世界を探ります
- (2)免疫染色(酵素抗体法、蛍光抗体法)：特殊な蛋白や腫瘍マーカーなどを検索します。
- (3)遺伝子検査：ウイルス遺伝子、ガン遺伝子などの解明を行っています。
- (4)その他



### 病理診断についてもっと知りたい方へ

(社)日本病理学会のホームページ(<http://jssp.umin.ac.jp>)「一般の方へ」をご覧ください。

「病理医とは」  
「病理診断ってなあに？」  
「病理診断の結果を病理医から直接聞きましょう」など、わかりやすく解説してあります。パンフレットの印刷もできます。

連載企画 旬をたのしむ21 「キャベツ」

(栄養科)

キャベツの原産地はヨーロッパの地中海・大西洋の沿岸といわれ、日本では明治中期に「豚カツにキャベツの千切り」という形で大ブレイクしました。種類としては、寒玉・春玉・グリーンボール・紫キャベツ・芽キャベツなどがあり、ブロッコリーやカリフラワーなどもキャベツが分化したものです。春玉は葉がみずみずしく柔らかで球の内部まで緑色を帯び、サラダなど生でおいしく食べられます。春は柔らかく弾力性のあるもの、冬はまきが硬く重量感のあるものを選びましょう。カットの場合は芯の高さが3分の2以下のものがよいでしょう。

〈キャベツの栄養・効能〉

キャベツのビタミンCは外葉に最も多く含まれ、中心へ向かっていくにつれ少なくなり、芯の周辺で再び多くなります。大きめの葉であれば、1枚で一日のビタミンC必要量の半分程度をとることができます。また、キャベツに多く含まれているビタミンCやビタミンUは水溶性なので煮汁を利用するとよいです。

★ミニ知識 ビタミンの種類(13種)

- 脂溶性: ビタミンA・D・E・K
- 水溶性: B1・B2・ナイアシン・B6・葉酸・B12・ビオチン・パントテンサン・C

ビタミンは3大栄養素のようにエネルギー源や体の構成成分にはなりません、体の機能を正常に維持するために不可欠な物質です。必要量はごくわずかですが、食べ物から摂取しないと欠乏症を引き起こします。ビタミンUは13種には入りませんが、ビタミン様物質として胃酸の分泌を抑制し胃腸粘膜の修復に作用すると言われています。

★献立紹介

〈キャベツのシューマイ〉

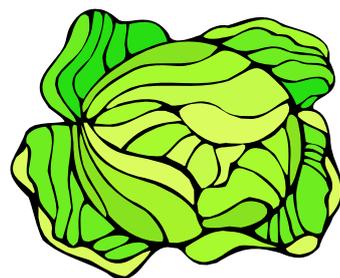
1. 青ねぎ・戻した椎茸はみじん切りし、豚挽き肉・しょうがの絞り汁・その他の調味料を加えてよく練り混ぜる。
2. キャベツの葉は、硬い茎を削いで茹で、1/4くらいに切っておく。
3. 1を5個に分け、片栗粉をまぶしコーンを飾り、キャベツで包み蒸す。

材料(5個分)

豚ひき肉	100g
青ねぎ	1/2 本
干し椎茸	1 枚
しょうが	少々
片栗粉	大1/2
醤油	大1/2
塩	少々
ごま油	少々
コーン	30g
片栗粉	少々
キャベツ	大2〜3枚
からし醤油	少々

キャベツの栄養(100g中)

エネルギー	23 kcal
たんぱく質	1.3 g
脂質	0.2 g
食物繊維	1.8 g
カリウム	200 mg
カルシウム	43 mg
鉄	0.3 mg
カロテン	50 μg
ビタミンB1	0.04 mg
ビタミンB2	0.03 mg
ビタミンC	41 mg



ふれあいギャラリーから「桃源郷」(中村 勇さん)

富山市民病院でボランティアをしてみませんか!

思いやりのある親切で優しい気持ちと、何でも積極的にやってみようという気持ちさえあれば、誰でもできます。とは言っても、それはなかなか大変なことでしょう。どなたでも大歓迎ですから、あまり難しく考えないで、まずは体験してみませんか?

当院でのボランティア活動を通して、思いやりのある親切で優しい気持ち

ちや積極的にやってみようという気持ちが次第に大きく育っていかもかもしれません。当院のボランティア活動に関心を持っていただいた方は、ぜひご連絡下さい。

問い合わせ・お申し込みは  
富山市民病院総務課  
(代) 076-422-1112  
内線 2203

## ■連載企画 ボランティア・エッセイ22

### 『あせらない・あわてない・あきらめない』 病院ボランティア 石森貞夫

☆ 「市民病院へ来ると安心がもらえる」と、バス乗車の外来者が帰宅前の談話から内科診療後に毎月1回の来院が楽しみと顔なじみの方が語られる。遠方からの通院ですので、近くの医院を紹介されるが、長い習慣でお医者さんや看護婦さんに親切にされるので…と多少足を引きずりながら乗車される。親しみのある通いなれた場所となっているのでしょうか。再来院を約束される。

★ 先日はありがとう…と年輩のお母さんが、丁寧なご挨拶ですが、入院されるお父さんを車椅子で先月病棟迄案内したのですが、先方にとっては心配な時に少しでも協力できたことが、今無事に退院されるときに偶然再会して、タクシーに載せてあげたら、明るい笑顔の帰宅に、私もひと安心し、心が軽く冬空も快晴でした。時々見知らぬ人に声をかけられる事がありますね。

☆ ガミガミ…と大声での苦情を、総合案内の婦長さんに怒鳴っている人に、辛抱強く笑顔で対応が続き、やがて連絡により関係者に案内されて一件落着、周囲の人も安心して各診療科へ、何時もの出来事です。総合案内の二人の方は、皆さんのストレスを明るい病院の玄関口の為に、毎日ごくろうさます。病院の第一印象は「お早うございます」と、今日もスタートしました。

★ ベンチ前の喫煙お父さん連中が、ヒソヒソ話していますが、最近病院では明るいニュースがないので、気になるのでなんだろうと、「北陸道での多重衝突事故」の新聞記事を見ながら、災害拠点指定病院での、情報収集が不十分のために、一部けが人受け入れ体制不備が、事故当日の当直要員が召集出来なかった、報道の話題でした。テレビでも今後の対応を要請されましたが、備えあれば愁い無し、お願いします。2月の連休などは、夜間救急が192名も市民病院でお世話になったと別のお父さんが、注射で孫の一命を救われたと、感謝されたのが、明

るい喜びの話題でした。

☆ 最近の携帯普及は素晴らしく、ソフトバンクは約千五百万人の顧客を持ち、NTT・KDDIに対抗する勢力となり、病院の玄関前ではお母さんお父さん方が、老人方も負けじと指を動かして今日の診療の経過や、送り迎えメールを、また救急車で搬送の無事を伝達するなど、医者診断内容を、入院要請からまたは診察を終わってから、何時ものように大和デパートの散歩など、世相様々、涙あり笑いあり、携帯電話での長話に花がさいていますね。

★ 「患者乗降指定」と黄色枠での正面玄関前で、安心して障害者・車椅子利用者の場所が確保されて、老人看護病院関係車両やNPO法人・法令第60条（介護保険利用）などの送迎車両が、最近増加し、外来者が来院に使用されています。反面タクシー利用者は減少気味ですが、押しボタン式も理解されて、協力戴いています。自家用車も増加して、駐車場確保をお願いします。

☆ 「こころの健康づくりセミナー」での教訓、うつ病体験者によるうつ病とつきあう方法から、上野玲氏（NPO講師）は、うつ病の原因は ①おっくう、②不安、③いらいら、の三要素が重なって人間としての生命力が低下するので、治療は周囲の人が家族の理解が支えになり、人生のピットイン（休養・整備）と考え、ゆっくり抗うつ新剤を使用して治す、また三つのあ ①あせらない、②あわてない ③あきらめない、を治療の原則と考え、是はガン根治に、全ての病気にも当てはまり、根気よく自分の信頼できる医師に、病院で回復出来ると、自分自身が確信を持って人生を生きましょう。

## ■院長への手紙のご紹介とお返事

病院長 泉 良平

**ご意見1** 第1駐車場に入ろうとしたら、警備の人に「第2へ行け」と案内されました。その際、丁度、1台の車が第1から出ようとするのが見えたので、警備の人に言うと、「そんなことは知らない。」むごいことをいわれました。一体、どういう教育をされているのですか？腹が立ちます。おでこに熱さまシートを貼り付けてるので、高熱であることがわかるはずなのに、わざわざ遠い「第2に行け！」と言われました。

**お答え1** 駐車場が大変混雑することが大変多く、皆様にご迷惑をおかけしています。ご指摘のことにつきましては、係りにものに注意して誘導するようにと、申し伝えました。これからも、混雑の際にはご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

**ご意見2** 大きな荷物がある場合もあるので、有料でよいのですがコインロッカーを置いていただけると助かります。診察券を出して、待ち時間を利用して用事をしようと思う場合、とても患者の立場として助かります。

**お答え2** ご意見ありがとうございます。コインロッカーの設置についてのご意見ですが、現在の外来は電子カルテを導入したことや、院外処方箋の発行業務、相談業務などのために、大変手狭になっています。将来、外来を改修することを考えていますが、その際には是非、検討いたしたいと思います。



## ■お知らせ

### 「医療費の内容が分かる領収証」と「医療費明細書」をお渡ししています。

平成18年度の診療報酬改定で、保険医療機関等に「医療費の内容が分かる領収証」の発行が義務付けられました。

医療費の納入通知書兼領収書は、診療内容を定められた診療報酬の点数表に従い、基本診療料、投薬料、注射料など保険請求の区分ごとの診療費を計算し、患者さまの保険の一部負担率から、保険一部負担金や薬剤一部負担金を算出します。こうして算出した保険一部負担金などと、保険適用されない文書料などの保険外負担金の合計金額を患者さまに請求いたします。

当院では、この様な医療費の分かり難さを解消するため、昭和61年から医療費の内容が分かりやすい、現在のスタイルで領収証の発行に努めて参りました。しかし、注射で行う神経ブロックは、診療報酬上で麻酔に区分されているため、患者さまからは、“注射されたのにどうして手術・麻酔のところに出ているのか？”診療内容が納入通知書の内容と違うといった指摘があります。

また、以前にはなかった在宅医療やリハビリテーションなど新しい医療の提供体制や専門的な治療などによって、治療内容がより細分化されていることから、医療費の内容がより分かりやすい領収証とするため検討を行ってまいりました。新しい領収書の発行のためのシステムの改修を進めており、いま暫くお待ち

いただきたいと思います。

今回の診療報酬改定では、新たに患者さまから求めがあったときは、保険医療機関は、さらに詳細な医療費の内容が分かる明細書の発行に努めると示されています。当院では、診療内容や診療費についての疑問にお応えするため、入院については平成17年3月から、外来については10月から、医療費の内容を記載した明細書の交付を希望される患者さまやご家族に医療費明細書をお渡ししています。

患者さまやご家族が当院を信頼して治療に専念していただくためにも、疑問にお応えすることが重要であると考えており、ご不明な点がございましたら、お気軽に医事課担当者や病棟看護師にご連絡下さい。診療内容や診療費についてご説明させていただきます。

摘 要		点数×回数	合計点数
(基)	*初診料 (病院) (深) 21日	735× 1	735
(基)	*肺血栓塞栓症予防管理料 *24日 薬剤管理指導料	305× 1 350× 1	305 350
(薬)	* (向)		
	サイレース錠 2mg 1錠	3× 12	36
	*ロキソニン錠 60mg 1錠	3× 1	3
	*フェロミア錠 50mg 2錠	3× 2	6
	*ロキソニン錠 60mg 3錠	8× 3	24

医療費明細書のサンプル

## ■自衛消防訓練

3月19日(日)朝より、春の消防総合訓練の一環として、富山市民病院職員による自衛消防訓練が行われました。今回の訓練では、夜間に西病棟5階乾燥室で火災が発生したと想定し、患者さま全員が

どのくらいの時間内で避難することができるかを検証しました。あいにく雨の中での訓練でしたが、全員本番さながら真剣な対応で、スムーズに終了することができました。



## ■今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

ふれあいギャラリー(玄関ホール2階)：3月23日から4月13日まで、写真「桃源郷」(中村 勇さん)を展示しております。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。

尚、3月1日から展示しておりました写真「薔薇に心よせて」(村沢京子さん)は3月22日で終了しました。有り難うございました。



「花見山」(中村愛子さん)

## ■今月のイベントと院内の動き

- 3月3日(金)：第1回QCサークル発表会が行われ、6つのサークルの活動成果が発表されました。これから院内いろいろなところで改善活動が盛んに行われるようになりますが、皆様のご声援をお待ちしております。
- 3月15日(水)午後3時：南病棟3階において、消防訓練が行われました。
- 3月17日(金)15:00～16:00：精神科集団療法室においてボランティア交流会が開催されました。ボランティア10名、病院関係者15名が参加し、なごやかにわきあいあいとした雰囲気のなかで、日頃の活動や病院への思いを話し合いました。
- 3月19日(日)午前：春の消防総合訓練の一環として、富山市民病院職員による自衛消防訓練が行われました。(7ページ参照)
- 3月20日(月)：富山市の松浦悦子様より、リクライニング式車椅子5台の寄付をいただきました。たいへん有難うございました。
- 富山市消防局からの災害時直通電話が救急センターに設置されました。受信専用です。
- 電子カルテシステムが不安定な状態になることが数回起こりました。受診中の患者さまにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。



寄贈のリクライニング式車椅子



ボランティア交流会

## ■編集コラム

「好かれること、知られること」先月開催した広報講演会で、講師の石田章一先生(NPO法人日本HIS研究センター代表理事)から教えていただいた言葉です。皆さん普段何気なくPR(ピーアール)と会話の中で使っているかもしれませんが、「広報」を英語に訳したPublic Relation(公衆とのつながり)の頭文字なのです。「つながり」は当院の病院理念に価値観(何を大切にしているかのキーワード)の一つとして挙げてありますが、その広報の基本こそが、「好かれること、知られること」なのだというわけです。誰も知らないものにはすぐに心を開かないものですが、気心が知り合ううちに、信頼もできるし、好きにもなってきます。一方、ブランドに代表されるように、みんながよく知っているものには、人は自然と心を開き、関心を寄せるのです。

地域の中で皆さまに好かれ愛される病院となるためには、富山市民病院のことをもっと皆さまに知っていただくことが大切です。病院の中のことは、一般市民の方も、医療関係者も、院内の職員でさえも、意外と知らないことが多いのです。そのためには広報活動が重要なポイントであり、皆さんとのつながりの中で、信頼の貯金を大きく増やすことができればと思います。

「好かれること、知られること」広報のことばかりでなく、人間関係(interpersonal relations)においても大切にしたいものです。

総編集長：病院長 泉 良平  
編集部：齋藤勝彦・家城岩松・石森貞夫  
山本和子・松下桂子・川口 宏

発行：富山市立富山市民病院広報委員会  
〒939-8511  
富山市今泉北部町2-1

電話 076 (422) 1112  
Fax 076 (422) 1371

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>



富山市立 富山市民病院

